



菊陽町公共交通体系見直し計画原案について

～報告内容～

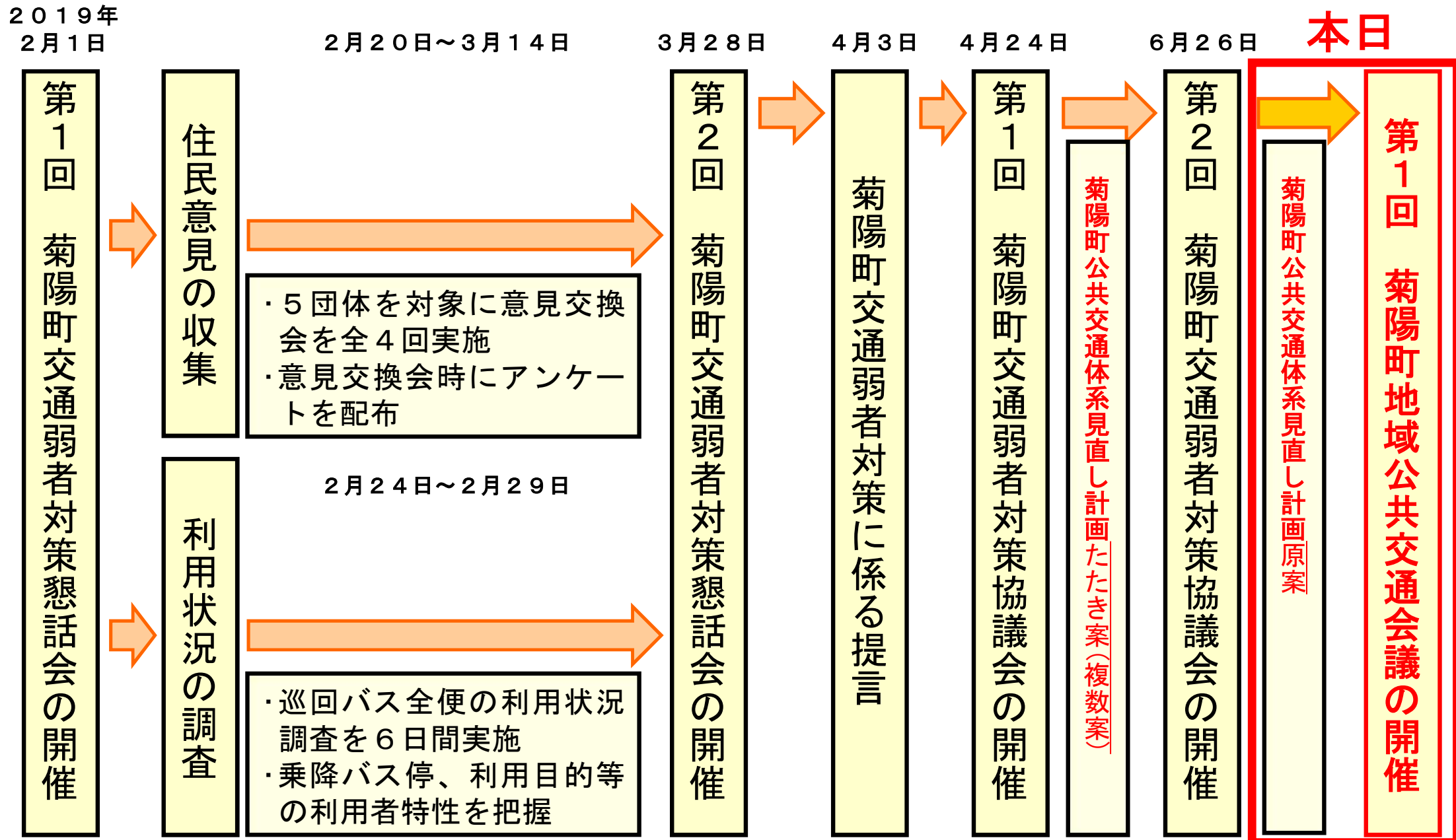
- | | | | |
|---|--------------|---|------------|
| 1 | これまでの検討過程 | 6 | 乗合タクシーの導入案 |
| 2 | 巡回バスの現状と課題 | 7 | 見直し計画原案 |
| 3 | 巡回バスに対する提言内容 | 8 | 今後の予定 |
| 4 | 見直しの方向性 | | |
| 5 | 巡回バスの再編案 | | |

令和元年 7月30日
菊陽町総務部総合政策課

1 これまでの検討過程

1

○懇話会より町長へ提出された提言書を受け、今年度に2回の協議会を開催し、見直し計画の原案を作成



<現状の運行体制>

本町の巡回バスは、32人用のバス1台と54人乗りのバス2台により各路線を運行している。
運行は、九州産交バス株式会社(2台)と熊本電気鉄道株式会社(1台)に委託している。

■中央循環線、東部循環線、北部循環線、西部線、南部線(月・水・金) 3台で運行

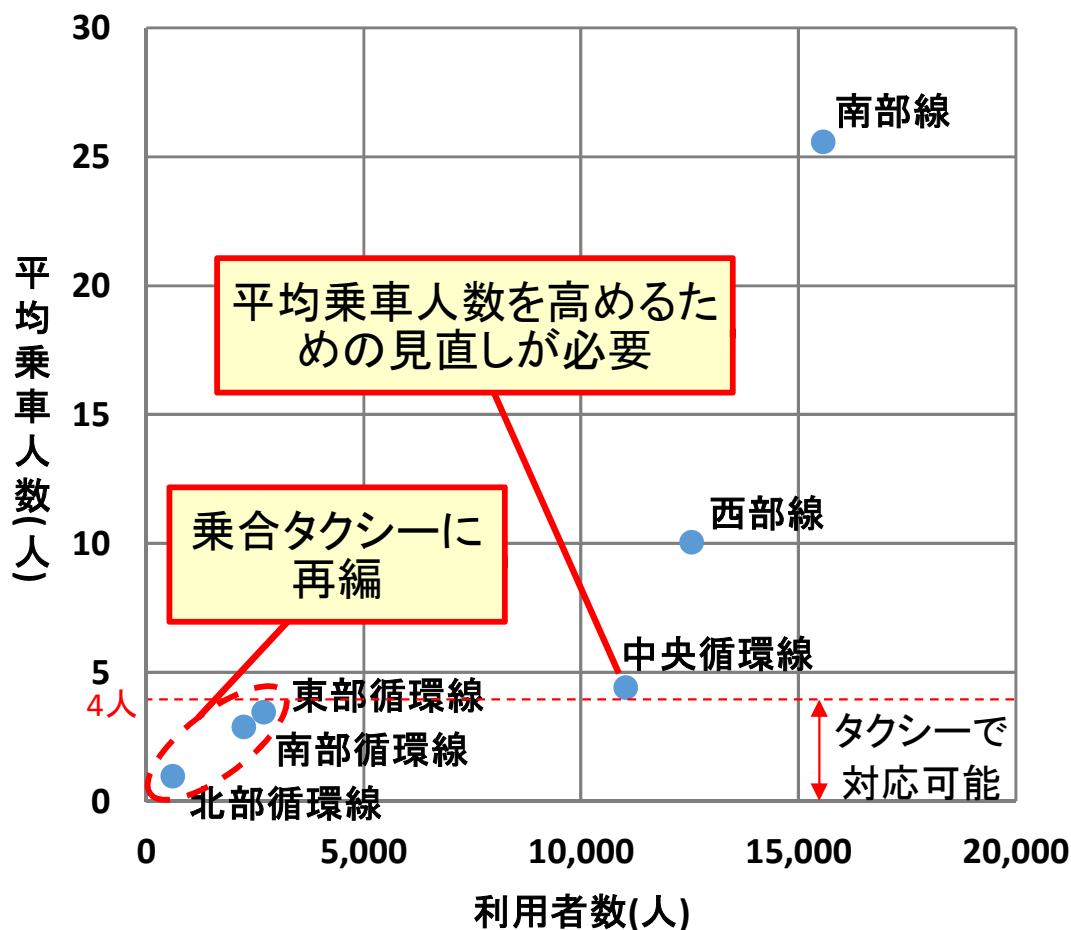
	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
産交①		中央循環 7:508:51	中央循環 9:0510:05		東部循環 10:2011:29	中央循環 12:2013:21	東部循環 13:4514:43	中央循環 14:5015:51	中央循環 16:1017:11	中央循環 17:2018:20			
産交②	南部 7:207:48	東部循環 8:459:43	中央循環 10:0011:01		東部循環 11:5512:55	中央循環 13:1014:11	東部循環 14:5515:35	南部 16:0016:23	南部 16:4517:08				
電鉄		西部 9:009:30	西部 9:4010:10	西部 10:2010:50		西部 12:0012:30	西部 12:5013:20		西部 15:0015:30	西部 15:5016:20	西部 17:1517:45		
				北部 11:0011:29	北部 11:3311:50		北部 14:0514:34	北部 14:3814:55					

■中央循環線、南部循環線、南部線(日・火・木) 2台で運行

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
産交①		中央循環 7:508:51	中央循環 9:0510:05	南部循環 10:2011:25		中央循環 12:2013:21	南部循環 13:4514:47	中央循環 14:5015:51	中央循環 16:1017:11	中央循環 17:2018:20			
産交②	南部 7:207:48	南部循環 8:409:42	中央循環 10:0011:01	南部循環 11:5512:52	中央循環 13:1014:11	南部循環 14:5515:38	南部 16:0016:23	南部 16:4517:08					

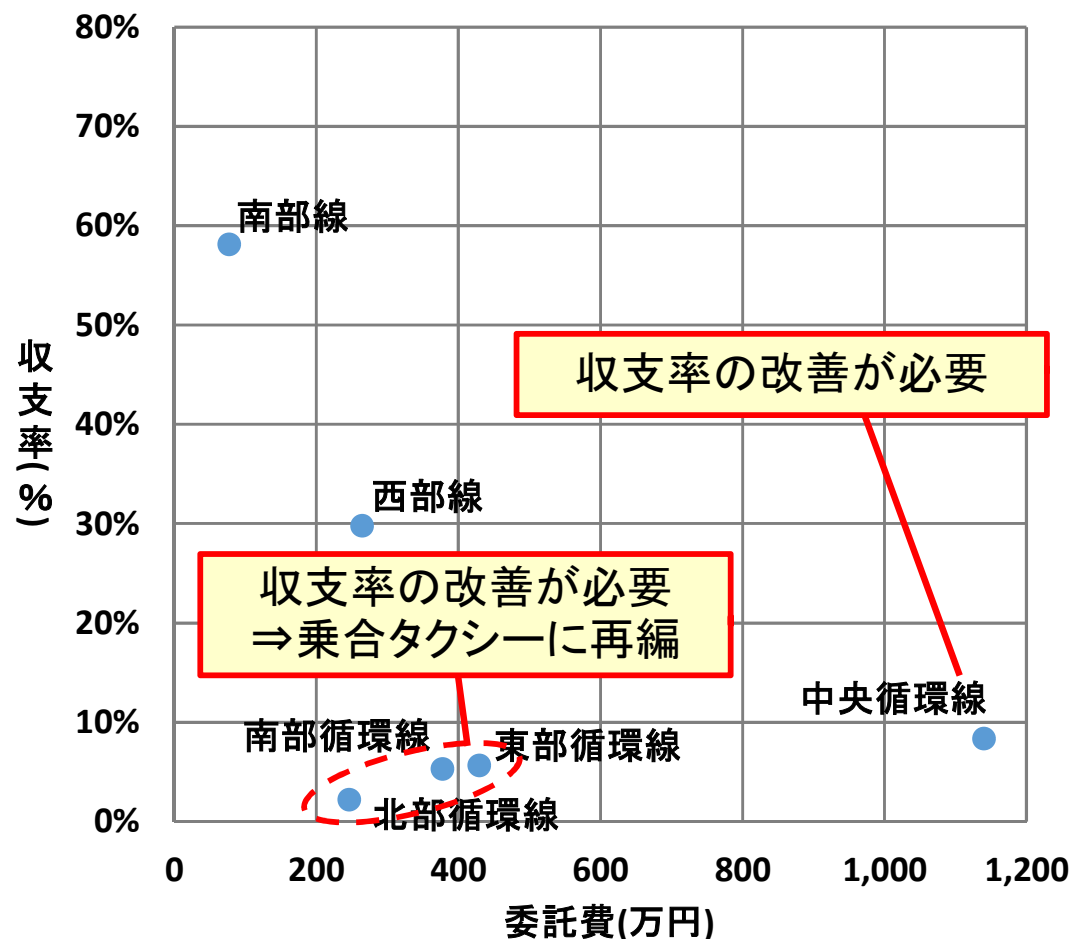
<運行効率から見た再編の必要性>

- ・南部線、西部線以外は利用者数、平均乗車人数が少なく、収支率も10%未満と低い
⇒ 中央循環線、東部循環線、南部循環線、北部循環線が見直し検討候補



▲路線別の利用者数・平均乗車人数

資料: H29実績



▲路線別の委託費・収支率

資料: H29実績

巡回バスの現状・課題の整理

【現 状】

- ・収支率が著しく低い路線が存在している
- ・需要面に応じた適切な車両サイズによる運行が難しい
- ・利用方法を知らない交通弱者が多く、利用したことのある人が少ない

【課 題】

1 便当たりの利用者が路線により大きく異なるため、利用実態に見合った運行形態の見直しが必要

町民の利用率が低いため、運行経費増加の抑制、利便性向上が必要

時刻表の見つらさや、路線の複雑さにより利用方法が分かりにくい

【提言内容】

見直し対象とする巡回バスシステムや区間の選定及び代替手段の導入

既存の巡回バスシステムの利便性向上につながる改善方策の検討

より分かりやすい路線網の構築及び利用方法の周知

提言のテーマ：将来にわたり菊陽町内の交通弱者に持続可能な公共交通手段を確保していく

<巡回バス>

- ・利用が多い区間を軸に、利用者が目的地としている施設、交通結節点を経由
- ・既存の路線バスとの連携を考慮
- ・JR、路線バスを補完する形で市街化区域を概ねカバー

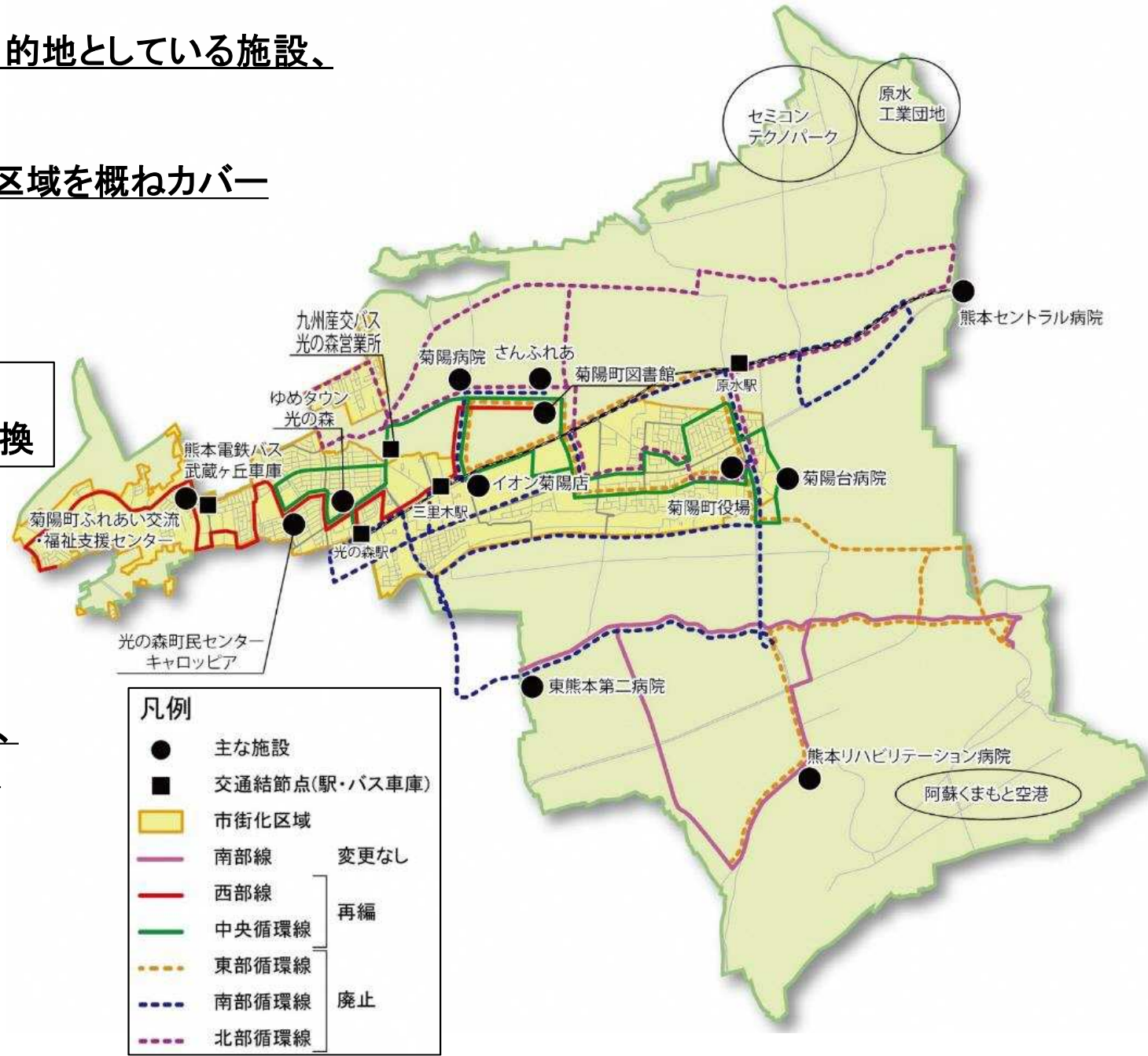
南部線	] 変更なし
西部線	
中央循環線	] 路線の再編
東部循環線	
南部循環線	] 廃止 ⇒乗合タクシーに転換
北部循環線	

↓

<乗合タクシー>

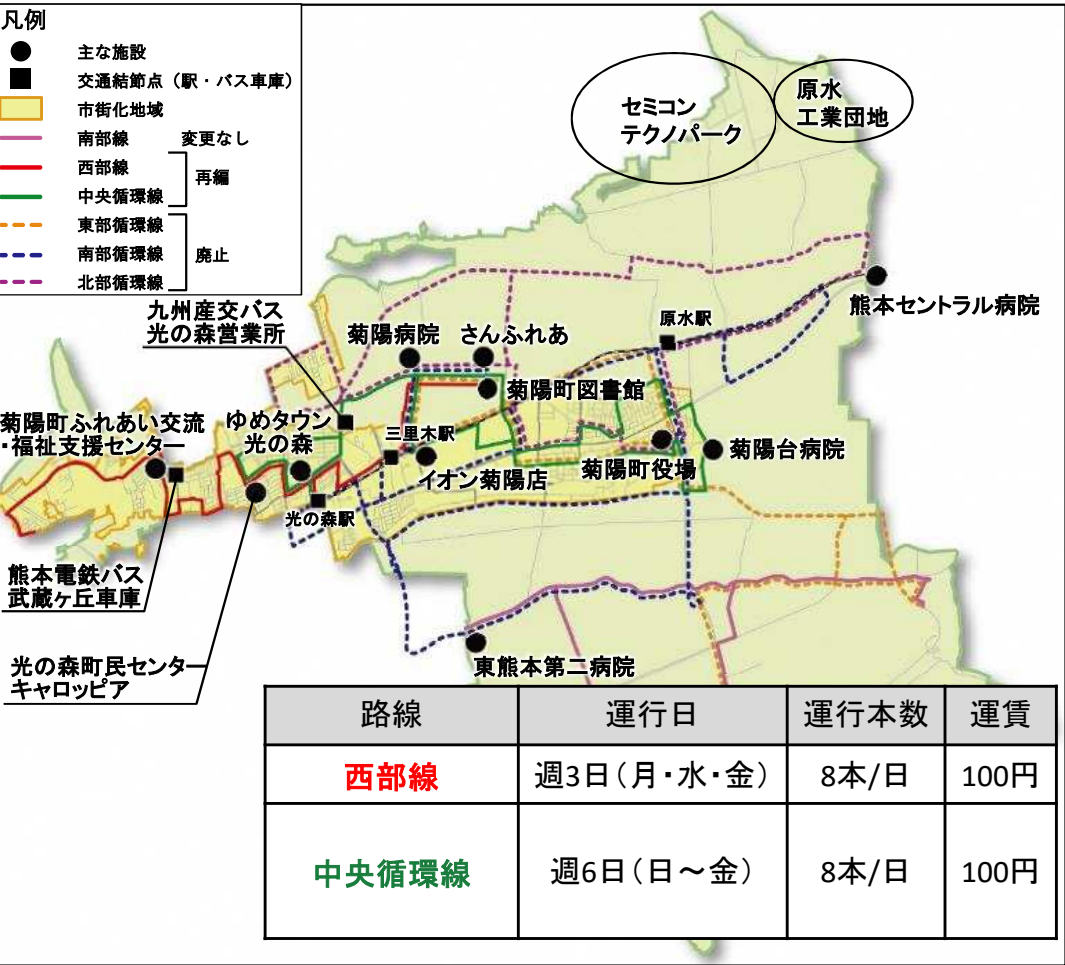
- ・廃止する巡回バスの区域（市街化調整区域）をカバー
- ・他の公共交通との乗継利便性が高く、利用者の目的に合った発着地を設定

【現状の巡回バス路線図】

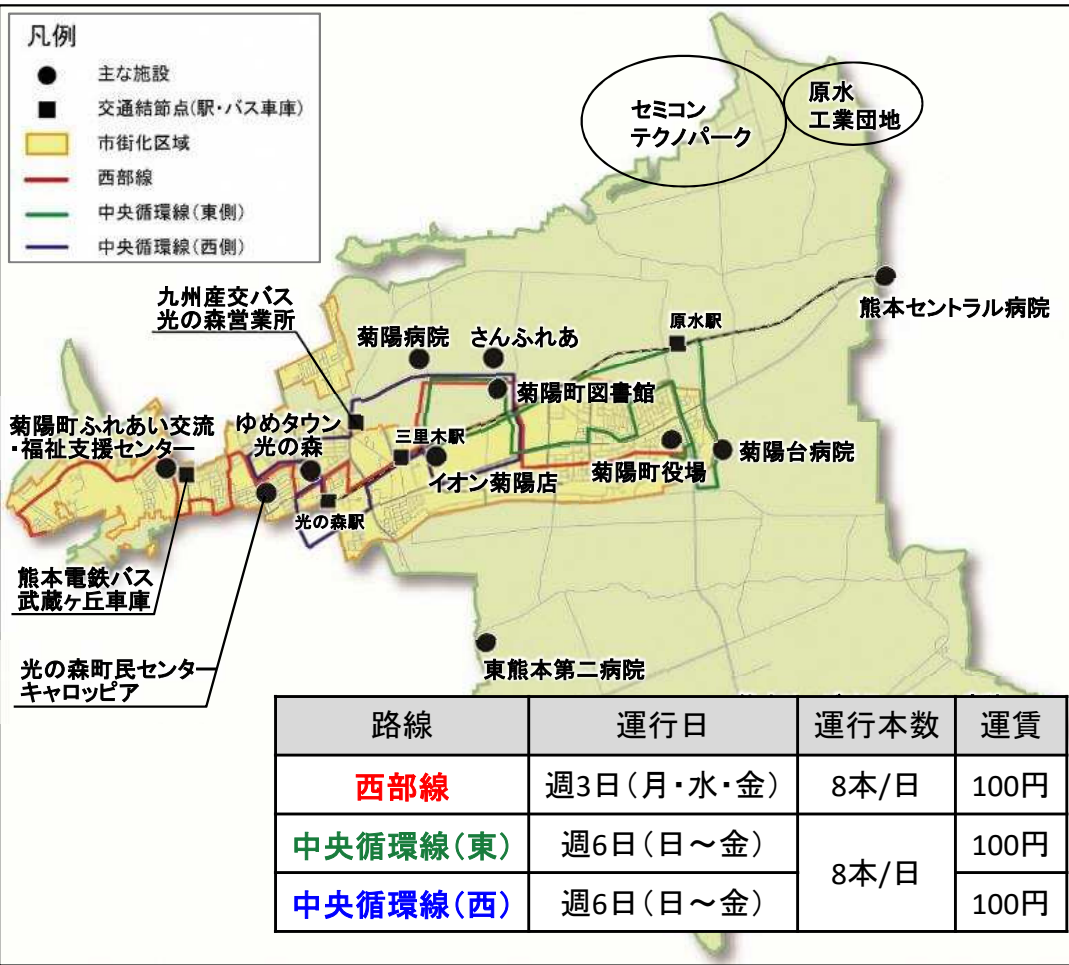


西部線	菊陽町図書館から菊陽町役場まで延伸
中央循環線	<u>東側(イオン菊陽店～菊陽台病院)をカバーするルート</u> と、 <u>西側(キャロップピア～菊陽町図書館)をカバーするルート</u> の循環を東西に設定 利用者が少ない市街化区域の南端(大堀木～青葉台団地入口)は経由しない (乗合タクシーによりカバー)

【現状】



【再編後】



<西部線>

- ・菊陽町役場への移動ニーズに対応して延伸
- ・延伸により、所要時間は増加

凡例

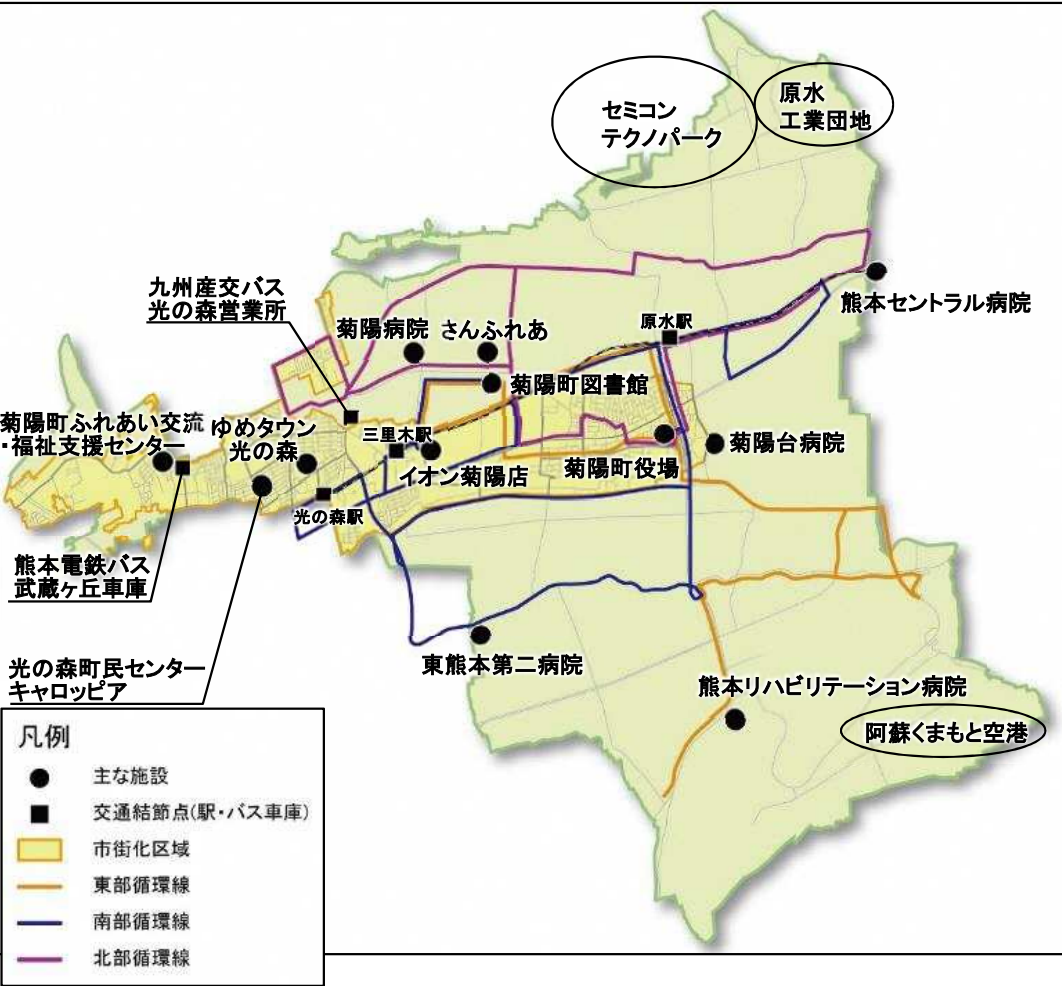
- 主な施設
- 交通結節点(駅・バス車庫)
- 市街化区域
- 西部線(現行)
- 西部線(再編後延伸区間)



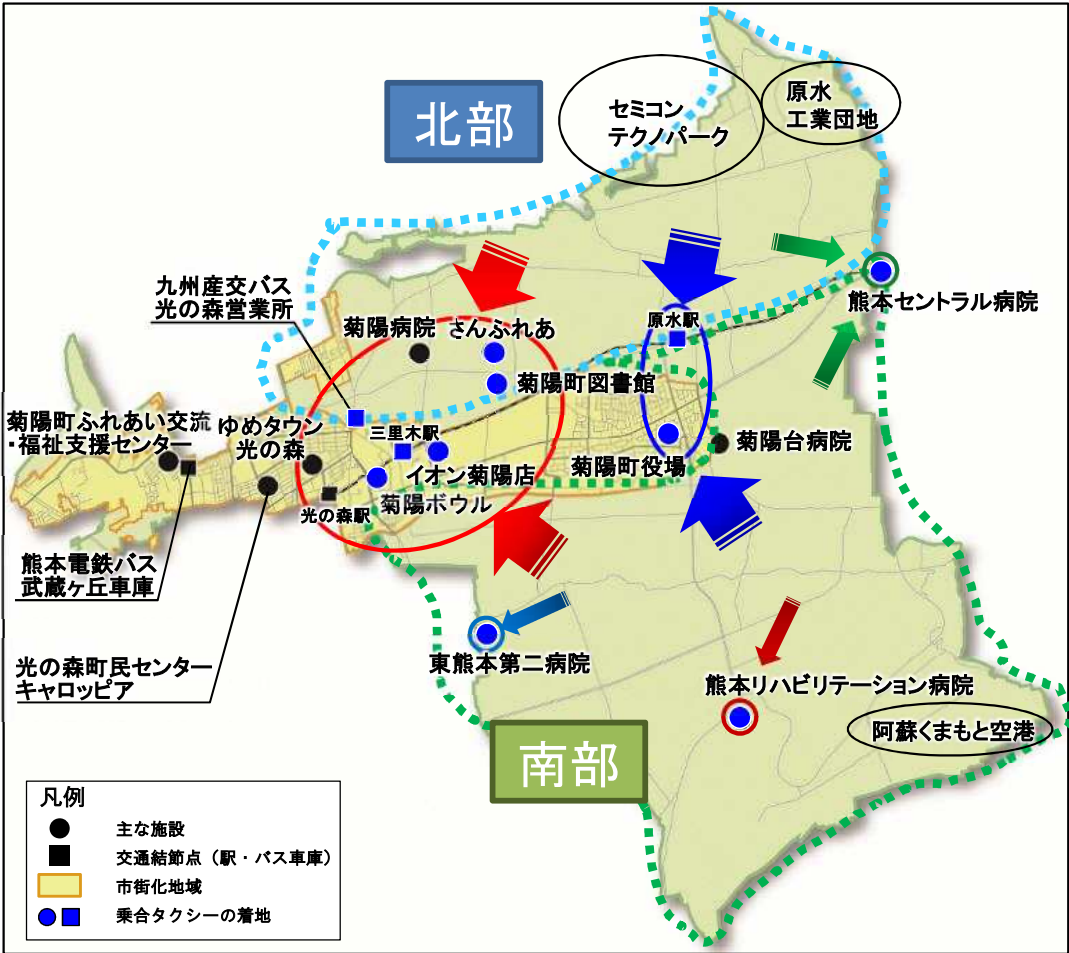
<乗合タクシー>

- ・廃止する巡回バスの区域(市街化調整区域)をカバー
- ・他の公共交通との乗継利便性が高く、利用者の目的に合った発着地を設定

【現状（廃止路線）】



【再編後】



<北部>

○発地：自宅前

○着地：

【主要目的地】

さんふれあ、菊陽町図書館

【主要施設】

菊陽町役場

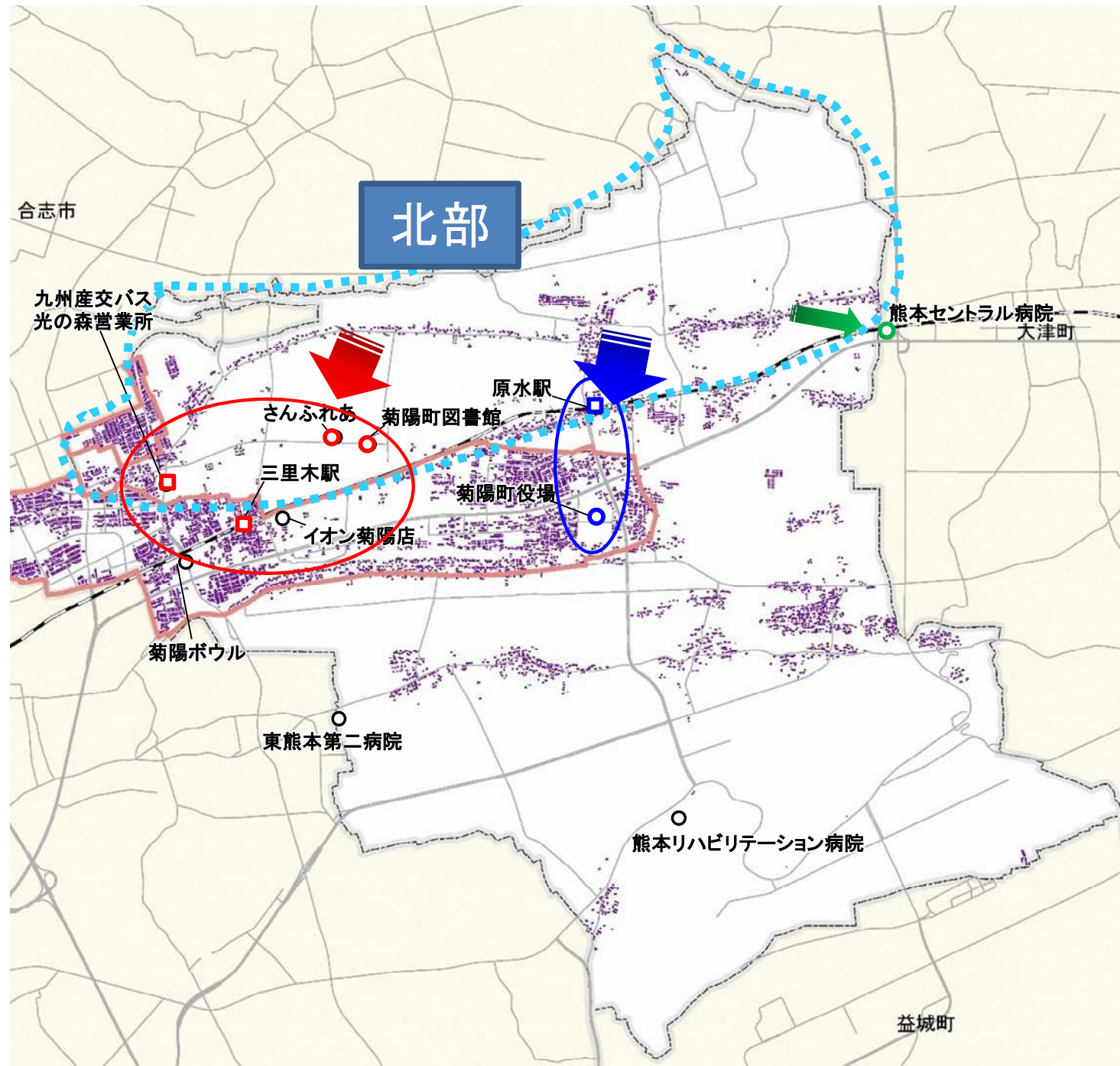
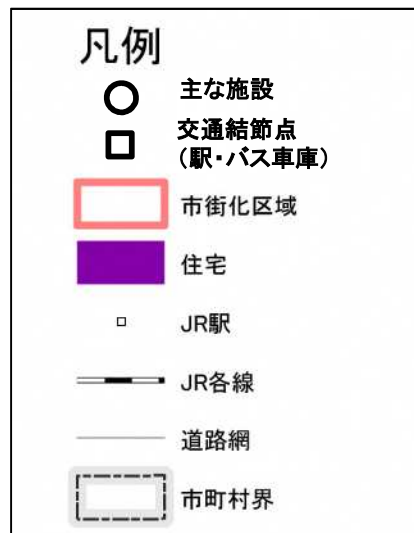
【乗継拠点】

JR三里木駅、JR原水駅、
九州産交バス光の森営業所

【地域内の拠点】

熊本セントラル病院

○運行頻度：週6日（日～金）、5本/日



<南部>

○発地: 自宅前

○着地:

【主要目的地】

イオン菊陽店、菊陽ボウル

【主要施設】

菊陽町役場

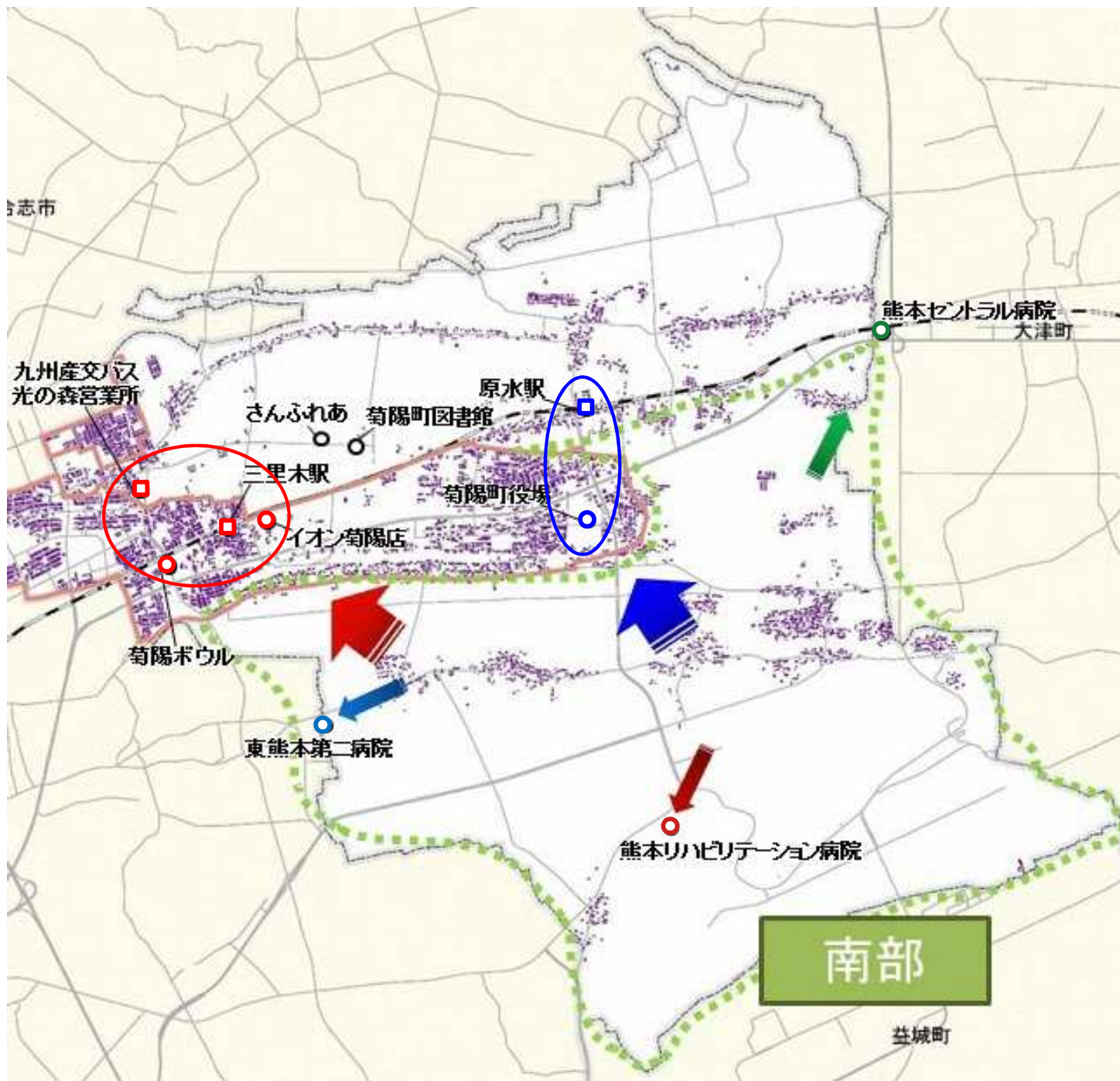
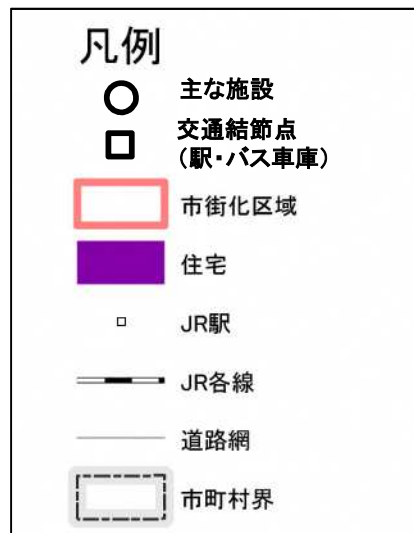
【乗継拠点】

JR三里木駅、JR原水駅、
九州産交バス光の森営業所

【地域内の拠点】

熊本セントラル病院、
東熊本第二病院、
熊本リハビリテーション病院

○運行頻度: 週6日(日～金)、5本/日



＜巡回バス＞

【西部線】

- ・運行頻度：週3日、8本/日
- ・ルート：役場まで延伸

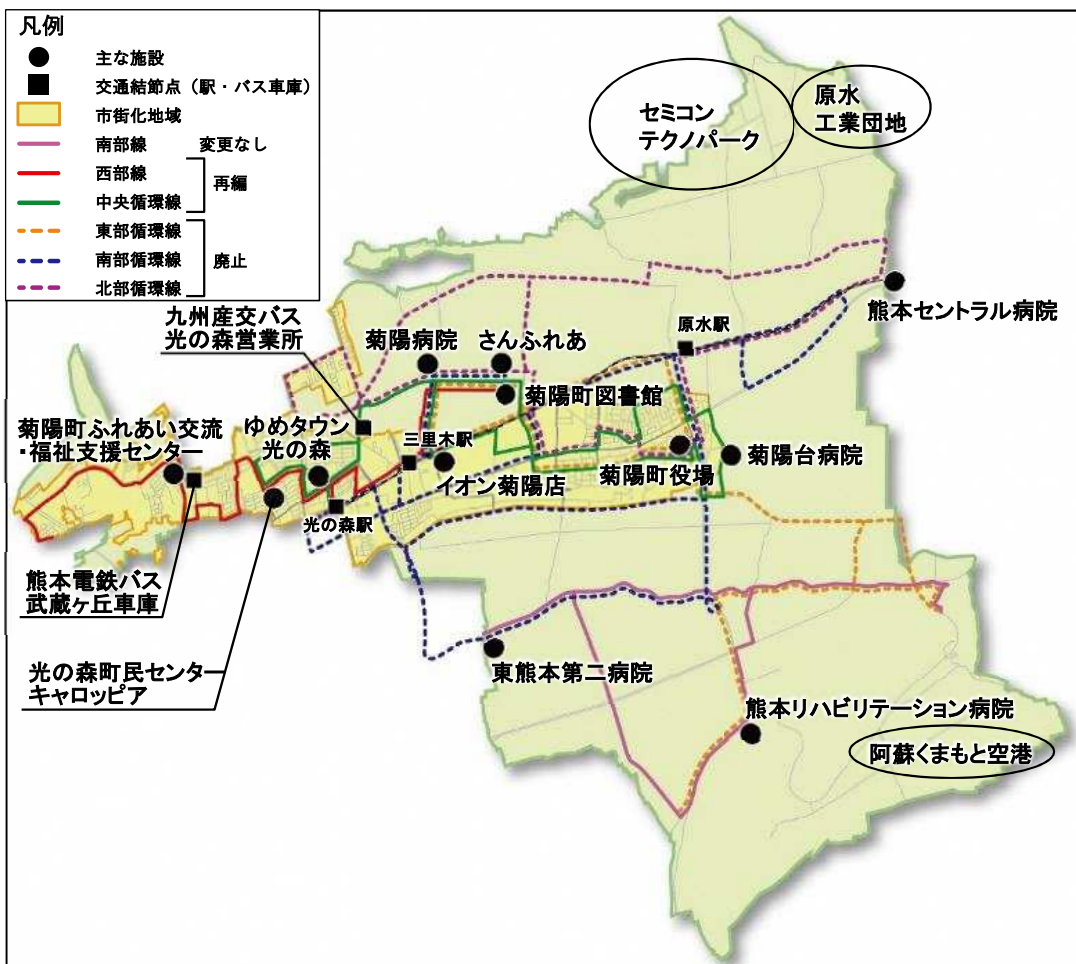
【中央循環線】

- ・運行頻度：週6日、東西8本/日
- ・ルート：東西の2環状

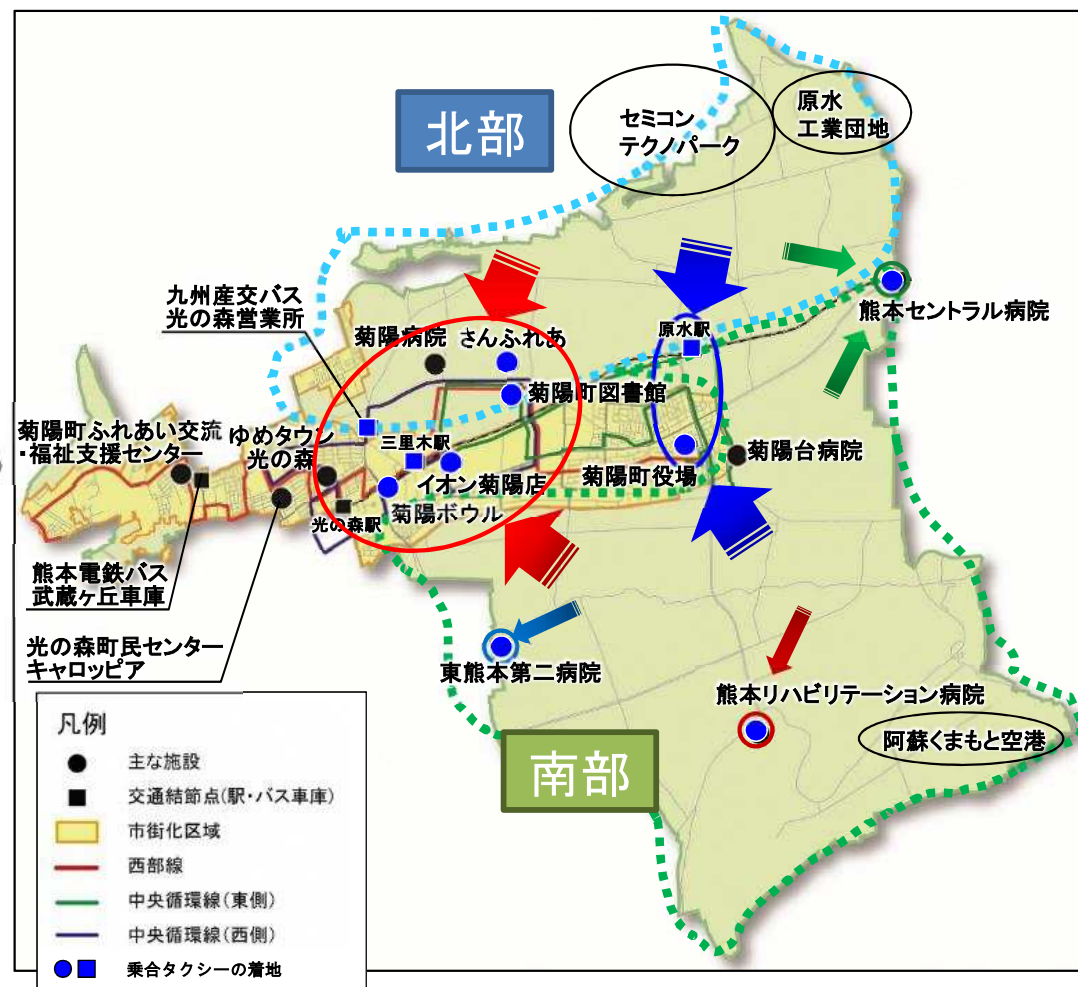
＜乗合タクシー＞

- ・運行エリア：北部、南部（2区分）
- ・発地：自宅前
- ・着地：主要な目的地・施設、乗継拠点、地域内の拠点
- ・運行頻度：週6日、5本/日

【再編前】



【再編後】



<運行経費の試算>

【基本的な考え方】

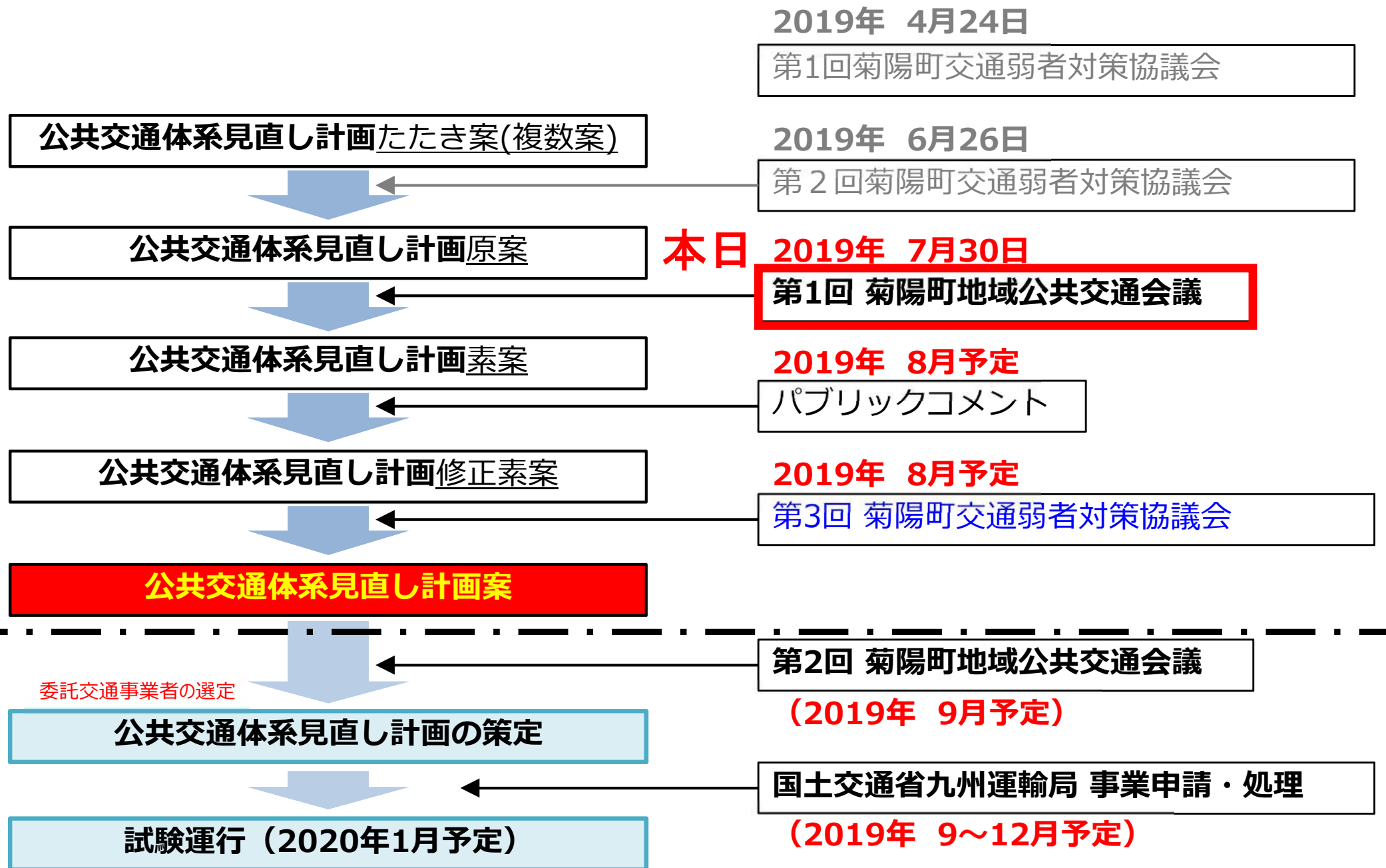
- ・再編後の巡回バスと乗合タクシーの運行経費の総額は、現状の巡回バスの運行経費を目安とする

※再編による利用者数の変化の予測が難しいため、委託費の予測においては不確定要素が多い

【算出方法】

- ・巡回バスの運行経費は、過年度実績から算出した事業者ごとのキロ単価を用い、再編後の実車走行キロで算出
- ・乗合タクシーの運行経費は、熊本県の乗合タクシー(小型車)の料金算出方法に従い、現状の巡回バスで利用が多いバス停間の距離に1km(自宅前までの迂回相当分)を加えた距離で算出

⇒再編後の巡回バスと乗合タクシーを合わせた運行経費は、現状並みに抑制できる見込み



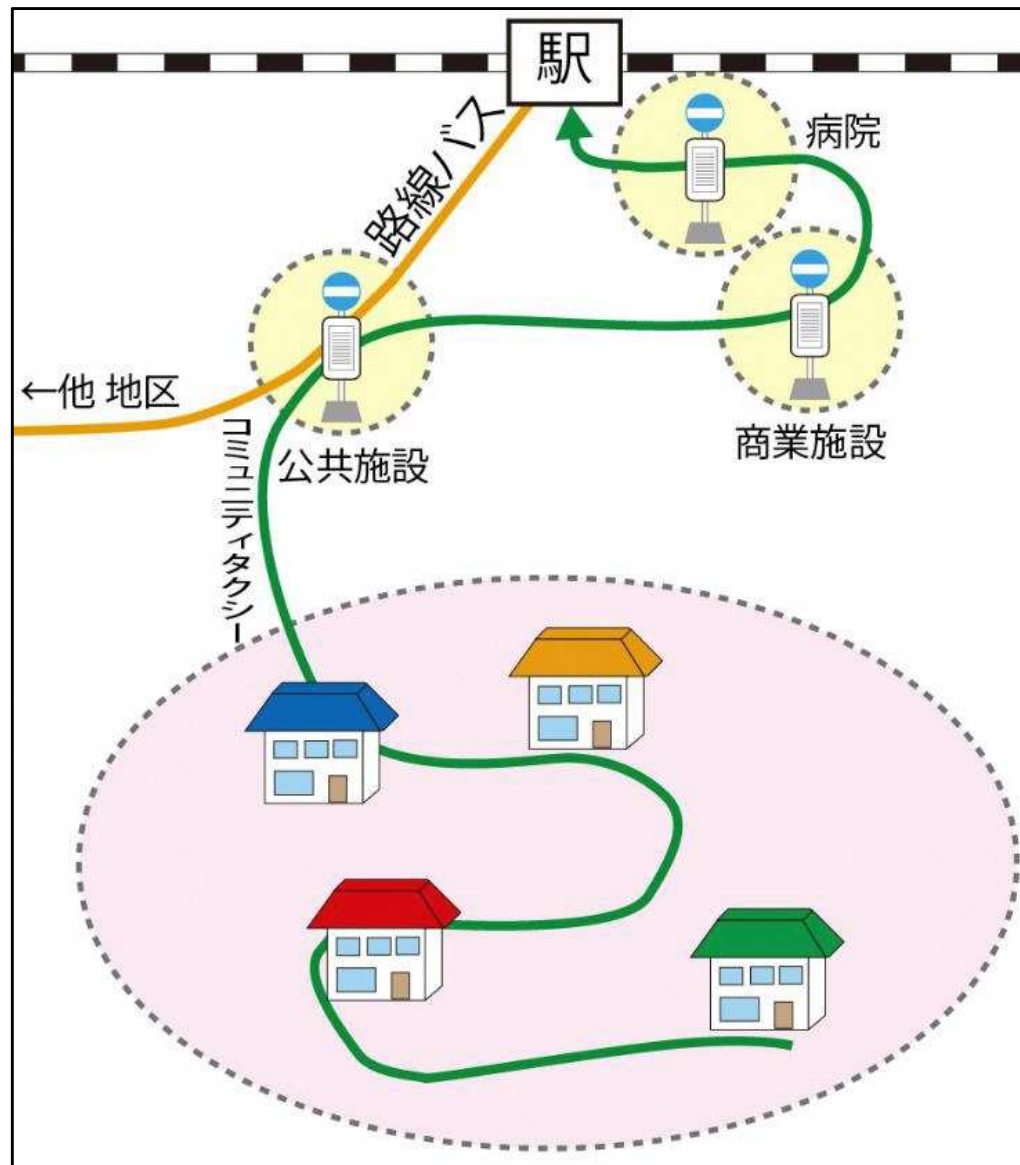


▲ 菊陽町巡回バス バス停区間別利用者数

【乗合タクシーとは？】

- ・知り合い以外の方とも乗り合って利用する、バスとタクシーの中間のような公共交通機関です
※予約を受けてから運行事業者がルートを決めるので、皆さんが乗り合う相手を探す必要はありません
- ・決められた時間帯に予約がある場合のみ運行します
※利用の前に必ず予約をしてください
- ・駅や公共施設などの決められた着地と、ご自宅の間の行き来ができます

(乗り合って利用するイメージ)



※ 自宅から出かける場合の例

【行き】

- ① 1時間前までに電話で予約をします
【予約に必要な情報】
- ・乗車日、乗車したい時間帯
 - ・乗る場所、降りる場所(着地)
 - ・乗車人数
 - ・帰りの便の予約(必要に応じて)

② 予定時刻になったら自宅前で乗合タクシーを待ち、到着したら乗車します

③ 他の利用者と乗り合って、着地に向かいます

④ 着地で運賃を支払って降車します

【帰り】

- ① 1時間前までに電話で予約をします
【予約に必要な情報】
- ・乗車日、乗車したい時間帯
 - ・乗る場所、降りる場所(自宅)
 - ・乗車人数

② 発車時刻までに決められた乗り場へ移動し、乗合タクシーに乗車します

③ 他の利用者と乗り合って、自宅に向かいます

④ 自宅の前で運賃を支払って降車します